

減災・未来カフェ

地域防災活動の到達点と未来

阪神・淡路大震災の大きな教訓として、地域での助け合いや災害ボランティアなど共助の大切さがあります。地域での防災活動が注目され、各地で活発な取組が進められる一方、高齢化などによるコミュニティの弱体化も心配されています。これまでの経験・教訓を踏まえて、未来の災害に向けて地域防災活動はいかにあるべきなのか、阪神・淡路大震災が発生した1月17日に、サイエンス・カフェ形式で講師との対話を通して考えます。

新型コロナウイルス対策へのご協力をお願い

・新型コロナウイルス感染防止のため、当日はマスクの着用、入室前の手指消毒等の対策をお願いいたします。



日時：令和4年1月17日(月) 9:30～11:00

場所：人と防災未来センター東館4階

兵庫県立大学神戸防災キャンパス 大教室

講師：室崎益輝（減災復興政策研究科 研究科長・教授）

定員：40名

参加費：500円（学生200円）

申込方法：メールもしくは電話でお申し込み下さい

氏名、メールアドレス、電話番号、ご職業（会社員、学生等）
をご連絡下さい。

新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、オンラインでの開催とさせていただきます、参加費等が変更となる可能性があります。予めご了承ください。

【お申し込み・お問合せ先】

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科

担当 宮内・紅谷

メールアドレス：gensai@ofc.u-hyogo.ac.jp

電話：078-271-3290

